

県立校長会議進路指導研究会での自衛官募集等説明

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、7月29日（金）、神奈川県立厚木清南高校において、神奈川県立高校142校のうち13校の校長で編成された進路指導研究会に対し、初めて自衛官募集等の説明の機会を得た。これは都県募集等連絡会議に参加した神奈川県教育委員会主事に依頼し、積極的な協力を得て実現したもので、本研究会に対して自衛隊の役割、募集種目及び学校説明会の必要性等について説明し、理解と協力を依頼した。

本研究会に先立ち、神奈川県教育委員会指導主事から、地本からの説明については、初めての試みであり、今後の自衛官募集に関して、地本と学校との連携強化を図る必要性がある旨のご挨拶をいただいた。続いて本部長から日頃の神奈川県地方協力本部に対するご支援・ご協力に感謝の意を表するとともに、学校との連携、特に学校説明会の実施について依頼した。

説明の当初、最新版のDVDを上映し、自衛官の入隊から退官、セカンドキャリアまでを分かりやすく紹介し、自衛隊に対する理解促進を図った。

その後、地本と学校との連携について重ねて協力を依頼した。参加者からは自衛官募集に関する認識不足や協力の必要性についての理解を確認した。

自衛隊神奈川地方協力本部は「今後も学校との緊密な連携により厳しい募集環境を克服し、任務達成にまい進する」としている。

高津区民祭に募集相談員とともに参加

神奈川県地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、7月31日（日）、川崎市高津区で開催された第43回高津区民祭に、川崎北募集相談員とともに参加した。

同区民祭は、毎年恒例のイベントで、さまざまな団体による出店や音楽パレード、お神輿パレード等区民に親しまれる夏の一大イベントである。当募集案内所は第3会場である高津小学校入口において、自衛隊の模型展示や非常用糧食の展示説明などを行うとともに、広報ブースを訪れた方にうちわや自衛隊グッズを配布し、大勢の来場者で賑わった。

溝の口募集案内所は、「今後も、多くの市民の自衛隊に対する理解を深め、募集広報に繋がっていききたい」としている。



広報ブースの様子



支援に訪れた募集相談員